

2020年12月10日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 白根学園
学園長 磯貝 康正

白根学園障害者支援施設 しらねの里における
新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

12月8日（火）、障害者支援施設 しらねの里の利用者1名・職員1名がPCR検査で陽性となりましたが、その後、昨日9日（水）に発熱がみられる利用者11名にPCR検査を実施したところ、全員の陽性が判明しました。また本日、保健所指導により、しらねの里利用者・職員全員のPCR検査を実施しましたが、その結果については、後日ご報告いたします。

1 当該陽性者について

利用者については、いずれも軽症ですが、当該居室を閉鎖し自室で療養中です。また職員1名についても軽症ですが、自宅療養中です。

2 障害者支援施設 しらねの里の現状について

皆様にはご不便をおかけしますが、しらねの里の短期入所は当面休止します。また入所者はそれぞれの居室で経過観察を行っています。なお入所施設の応援体制を組むため、日中活動については、一旦全面休止としています。